

参加無料

日本学術会議公開シンポジウム

# 「新時代の昆虫科学を拓く3」

## プログラム

山下 興亜 (中部大学学長：日本学術会議連携会員)  
日本昆虫科学連合活動報告

嶋田 透 (東京大学大学院農学生命科学研究科：日本学術会議第二部会員)  
応用昆虫学分科会活動報告

弘中満太郎 (浜松医科大学医学部：日本比較生理生化学会)  
昆虫走光性の新たな理解—光に誘引される行動メカニズムとその適応的意義

中田 兼介 (京都女子大学：日本蜘蛛学会)  
クモの円網の形はなぜ真円でないのか？

亀田 恒徳 (農業生物資源研究所：日本野蚕学会)  
駆除したスズメバチの巣から新シルク素材

田原 雄一郎 ((株)フジ環境サービス：日本ペストロジイ学会)  
産業害虫としてのチャバネゴキブリの生態と防除

世古 智一 (農業・食品産業技術総合研究機構  
近畿中国四国農業研究センター：日本応用動物昆虫学会)  
飛ばないテントウムシを利用した生物的防除

2012

# 7月14日(土)

場所：東京大学弥生講堂 一条ホール  
13:00~17:30

平成 24 年 5 月 7 日

関係各位

公開シンポジウム「新時代の昆虫科学を拓く 3」の開催について

日本学術会議農学委員会応用昆虫学分科会  
委員長 嶋田 透

農学委員会応用昆虫学分科会では、日本昆虫科学連合と協力し、下記のとおり公開シンポジウムを開催します。ぜひご来場を賜りますようご案内申し上げます。

記

名称：公開シンポジウム「新時代の昆虫科学を拓く 3」  
主催：日本学術会議農学委員会応用昆虫学分科会、日本昆虫科学連合  
日時：平成 24 年 7 月 14 日（土） 13:00～17:20  
場所：東京大学弥生講堂 一条ホール（東京都文京区弥生 1-1-1）  
参加費： 無料  
事前登録：不要  
URL：<http://www.insect-sciences.jp/symp/sy2012.html>

開催趣旨：

わが国における昆虫科学研究者の連携とコミュニティーの再構築を目指し、平成 22 年 7 月に「日本昆虫科学連合」が設立された。この連合は、自由で活発な学術情報の交換を通して、昆虫科学の一層の発展を支える基盤となることが期待されている。今回の公開シンポジウムは、昨年・一昨年の公開シンポジウムに引き続き、加盟学協会それぞれの目指す昆虫科学研究の最先端を紹介するとともに、学協会間の相互理解を深めることを目的とする。

次第（時間、講演者、講演順などは若干変更する可能性があります）：

開会（13：00）

- 1 日本昆虫科学連合活動報告（13：05～13：20）  
山下 興亜（日本学術会議連携会員、中部大学学長）
- 2 応用昆虫学分科会活動報告（13：20～13：35）  
嶋田 透（日本学術会議第二部会員、東京大学大学院農学生命科学研究科教

授)

3 講演 (13:35~17:15)

- 1) クモの円網の形はなぜ真円でないのか?

中田 兼介 (京都女子大学 准教授)

日本蜘蛛学会

- 2) 駆除したスズメバチの巣から新シルク素材

亀田 恒徳 (農業生物資源研究所 主任研究員)

日本野蚕学会

- 3) 産業害虫としてのチャバネゴキブリの生態と防除

田原 雄一郎 ((株)フジ環境サービス 学術顧問)

日本ペストロジー学会

- 4) 飛ばないテントウムシを利用した生物的防除

世古 智一 (農業・食品産業技術総合研究機構 近畿中国四国農業研究センター 主任研究員)

日本応用動物昆虫学会

- 5) 昆虫走光性の新たな理解-光に誘引される行動メカニズムとその適応的意義

弘中満太郎 (浜松医科大学 医学部 特任助教)

日本比較生理生化学

閉会 (17:20)

問い合わせ先:

日本昆虫科学連合 事務局長

日本 典秀 (Norihide HINOMOTO)

独立行政法人 農業・食品産業技術総合研究機構

中央農業総合研究センター 病害虫研究領域

〒305-8666 茨城県つくば市観音台 3-1-1

E-mail: nhinomoto@insect-sciences.jp

Tel: 029-838-8939 Fax: 8837